

東日本大震災8年特別企画

ふくしまを
未来へつなぎ、
伝え続けよう!



参加無料

どなたでもご参加いただけます
託児あり
(無料、1週間前までに要予約)

東日本大震災・福島第一原子力事故から8年が経ちました。実際に被災された方から、震災時の様子や現在の生活についてお話しを伺い、記憶の風化を防ぎ、次の災害の為に私たちができることを一緒に考えてみませんか?

日時： 2019年 3月 3日(日) 10:00~16:00

場所： 地域交流センターともべ「Tomoa」会議室

(住所：茨城県笠間市友部駅前1番10号 友部駅徒歩2分 TEL:02 96-71-6637)

可能な限り申し込みを
お願いいたします。

こくちーズ▶

<https://kokucheese.com/event/index/551225/>



※駐車場が隣接しています。車両は四方向右折禁止です。

午前

10:00~12:00

福島在住の写真家による「福島の今を伝える」トーク

午前 - 講師プロフィール -

飛田晋秀さん

福島県三春町在住の写真家。福島第1原発の事故後、写真を通じて福島の状態を知らせたいと写真集を刊行。今まで計260回写真展開催。



午後

13:00~16:00

広域避難と障がいを考える「当事者が語る福島第一原子力発電所事故から現在」

午後 - 講師プロフィール -

半谷克弘さん

前双葉郡身体障がい者福祉会 会長。全国脊髄損傷者連合会 理事。福島県富岡町出身。身体障がいをもつ。震災後、応急仮設住宅に入居するまで、避難所等計134日の避難生活を送る。その経験をもとに、障害をもつ方が災害等で広域的・長期的な避難を余儀なくされた際のガイドラインづくりの必要性を訴えている。

主催：茨城県内への避難者・支援者ネットワークふうあいねっと

共催：茨城県社会福祉協議会、いばらきコープ生活協同組合、生活協同組合パルシステム茨城 栃木

後援：茨城県、笠間市

協力：元気つく場会 いい仲間つく浪会、積小為大の会、サロンおたがいさま、じゃあまいかねっと、NPOフュージョン社会力創造パートナーズ、認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ、茨大東北ボランティアグループ * fleur *、tsukuba for3.11、NPO法人ウィラブ北茨城、一般社団法人茨城県健康生きがいづくり協議会、たまり場たろう、市民ネットワークわくわくプロジェクト土浦、ルピナスの会、茨城県福祉移動サービス団体連絡会、筑波学院大学OCP推進室、茨城県生活協同組合連合会 等